

児童と園児が稲刈りを体験！

5月に田植えをした飯樋地区の水田で、児童が「あぶくもち」の稲刈りを体験しました。場所の提供から田の管理まで、活動を支える森永正男さん（前田・八和木）をはじめ、この日は9人の村民ボランティアが協力。鎌で刈るコツやワラで“まるく”方法を伝授し、“はせがけ”まで共に活動しました。

前日までの雨で足元がぬかるんでいましたが、児童は1～6年生の縦割り班で、楽しそうに、力を合わせて稲刈りをやり遂げました。こども園の年長児も参加し、実りの秋を体験しました。

学園NEWS! こども園NEWS!



森永さんの協力ですっきり実った「あぶくもち」。



希望の里WAKUWAKU Eツアー報告会

8月にオーストラリアで実施した『語学研修 希望の里WAKUWAKU Eツアー』の報告会を、9月12日、交流センター「ふれ愛館」で開催しました。

報告会では、研修に参加した、いいたて希望の里学園・後期課程の20人が、研修で学んだことや感じたことを、関係者や家族に向けて発表しました。

「文化の違いはあるけれど、それを継承していく様子は日本と共通している」「ホストファミリーが本当の家族のように接してくれたことがうれしかった」「景観を大切にすることが村と共通していた」「英語の楽しさや世界観、多様性を学ぶことができた」など、生徒がさまざまな学びや気づきを堂々と発表。また、経験を「今後の学びや人生に生かしたい」と力強く語りました。

報告を受けて、杉岡村長と増田校長が講評を述べ、「研修を楽しんだ様子、経験を生かそうという気持ちが伝わった」「一緒に研修に行ったような気持ちになる素晴らしい発表だった」と称賛しました。



英語弁論大会で見事入賞！

8月に開催された『第4回相双地区中学校英語弁論大会』暗唱の部で2位に入賞した9年生の山田安土さんが、8月31日、結果を報告するため来庁しました。山田さんが発表したのは、落語の「まんじゅうこわい」です。「緊張した」と言う本番でも、表情や発音を意識。「語学研修“希望の里WAKUWAKU Eツアー”での経験を生かすことができた」と話していました。山田さんは、9月17日にいわき市文化センターで行われた県大会にも出場しました。



増田校長（左端）、飯塚崇先生（右から2人目）と共に来庁し高橋教育長（右端）に結果を報告。

トウモロコシの贈り物

山梨県忍野村で農業を営む田邊達也さんが来村。いいたて希望の里学園とまでの里のこども園の子ども達に、トウモロコシを贈りました。

田邊さんは、震災直後から、飯館村に思いを寄せ、「子ども達を喜ばせたい」と支援を続けてくださっています。8月31日に、トウモロコシを携えて学園を訪れた田邊さん。そのやさしさに応えて、子ども達も感謝の気持ちを伝えていました。長年にわたるご支援、本当にありがとうございます。



子ども達と交流し励ましを贈る田邊さん。採れたてのトウモロコシを直送していただきました。

福島ユナイテッドFCサッカー教室

9月17日、いいたてスポーツ公園で、株式会社ハヤシ製作所協賛の『福島ユナイテッドFCサッカー教室』が開催され、いいたて希望の里学園の児童生徒がサッカーに親しみました。

子ども達は、福島ユナイテッドFC所属の清野通仁コーチと鈴木愛翔コーチの指導のもと、ボールを使ったストレッチや、鬼ごっこなど、遊びを取り入れたユニークな運動を楽しみました。試合形式の活動では、グラウンドを走り回ってボールを追いかけ、元気な笑顔を見せていました。

